

出生届の記入例

*簡単に消すことが可能なペンで書かないでください。
*誤ったときは二重線で訂正してください。

届出する年月日を記入してください。

子の氏名は正確な字体で書いてください。名前に使える字には制限があります。(常用漢字・人名用漢字・ひらがな・カタカナ)詳しくはお尋ねください。

生まれた子が嫡出でない子の場合、父の氏名、生年月日は空欄になります。

父母の本籍を記入します。

父母の世帯の主な仕事を記入します。

届出人は父または母です。届出書を持参するのは親族その他の方でもかまいません。

出生届

群馬県邑楽郡板倉町長 殿

受理 平成 年 月 日	発通 平成 年 月 日	第 号	第 号	
送付 平成 年 月 日	第 号	長印		
番 号	戸籍記載	記載調査	調査票	別 紙

(はみかた)	氏名	氏名	氏名	父母との続き	父母との続き	父母との続き	父母との続き
子の氏名	田中	佳織	田中	嫡出子 (長男)	嫡出でない子 (長男)	嫡出でない子 (長女)	嫡出でない子 (長女)
生まれたとき	平成 22 年 1 月 24 日		午前	午後	8 時 37 分		
生まれたところ	群馬県館林市本町〇〇〇						
住所	群馬県邑楽郡板倉町大字岩田〇〇〇〇						
世帯主の氏名	田中 俊一		子の子				
父母の氏名	父 田中 俊彦		母 田中 雅子				
生年月日	昭和50年 6 月 16 日 (満 34 歳)		昭和53年 2 月 15 日 (満 31 歳)				
本籍	群馬県邑楽郡板倉町大字飯野〇〇〇						
同居を始めたとき	平成 20 年 1 月						
子が生まれたときの世帯のおもな仕事	<input type="checkbox"/> 1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 <input type="checkbox"/> 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業員数が1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) <input type="checkbox"/> 4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の仕事(日々または1年未満の契約の雇用者は5) <input type="checkbox"/> 5. 3から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 <input type="checkbox"/> 6. 仕事をしている者のいない世帯						
父母の職業	父の職業 機会製造・組立		母の職業 事務				
届出人	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 父 <input type="checkbox"/> 2. 法定代理人 () <input type="checkbox"/> 3. 同居者 <input type="checkbox"/> 4. 医師 <input type="checkbox"/> 5. 助産婦 <input type="checkbox"/> 6. その他の立会者 <input type="checkbox"/> 7. 公設所の長						
住所	群馬県邑楽郡板倉町大字岩田〇〇〇〇						
本籍	群馬県邑楽郡板倉町大字飯野〇〇〇						
署名	田中 俊彦		昭和50年 6 月 16 日生				

嫡出子の場合、同一父母から生まれた順序にしたがって「長」、「二」、「三」と記入し、男女の別にチェックします。嫡出でない子の場合、母が分娩した嫡出でない子の出生の順序にしたがって「長」、「二」、「三」と記入し、男女の別にチェックします。

出生証明書の「生まれたとき」「出生したところ」を写してください。住所のみで施設の名称は記入の必要ありません。

世帯主が祖父なら「子の子」と書きます。「長男」「長女」「養子」「養女」等の場合でも「子」と記入します。

必ず連絡先の電話番号をご記入ください。

「子の氏名」欄は空欄でもそのまま提出ください。

出生証明書は、医師または助産師にしか記入できない欄です。絶対に加筆・修正しないでください。

出生証明書

子の氏名		男女の別	1男 ②女
生まれたとき	平成 22 年 1 月 24 日	午前	午後
出生したところ及びその種別	出生したところの種別 ①病院 2診療所 3助産所 4自宅 5その他 出生したところ 群馬県館林市本町〇〇番〇号 (出生したところの種別1-3) 施設の名称 ××医院		
体重及び身長	体重 3,110 グラム	身長 49.0 センチメートル	
単胎・多胎の別	①単胎 2多胎 (子中第 子)		
母の氏名	田中 雅子	妊娠週数	満 38 週 3 日
この母の出産した子の数	出生子 (この出生子及び出生後死亡した子を含む)	1 人	
	死産児 (妊娠週22週以後)	0 胎	
①医師	上記のとおり証明する。平成 22 年 1 月 24 日		
②助産婦	(住所) 群馬県館林市本町〇〇番〇号		
③その他	(氏名) 齊藤 元 (印)		

記入の注意

夜の12時は「午前0時」、昼の12時は「午後0時」と書いてください。

体重及び身長は、立会者が医師又は助産婦以外の者で、わからなければ書かなくてもかまいません。

この母の出産した子の数は、当該母又は家人などから聞いて書いてください。

この出生証明書の作成者の順序は、この出生の立会者が例え医師・助産婦とも立ち会った場合には医師が書くように1、2、3の順序に従って書いてください。

持参していただくもの

- ① 出生届書
- ② 母子健康手帳
- ③ 健康保険証
- ④ 通帳 (児童手当申請者名義)

届出人の署名が必要です。(押印は任意)